

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 飛驒特別支援学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和5年10月17日(火) 9:30~11:30
- 3 開催場所 飛驒特別支援学校 高山日赤分校 プレイルーム
- 4 参加者

会 長	河野 知子	飛驒特別支援学校本校PTA代表
副 会 長	柏木 真司	ウェルコミュニティ飛驒理事長
委 員	塩谷 雅	花里まちづくり協議会会長
	桑原 宏之	新宮まちづくり協議会
	白田 美樹	飛驒特別支援学校高山日赤分校PTA代表
	田中 雪子	山ゆり学園施設長
	丸山 永二	高山市社会福祉協議会事務局長
	松下 孝治	高山市福祉課課長
	大坪 希美枝	環境ネット(株) サービス管理責任者
	嶋田 喜美子	高山市民防災研究所 防災士 (欠席)
学 校 側	竹田 万里子	校長
	熊崎 礼子	高山日赤分校副校長
	伏屋 俊宏	事務部長
	長瀬 美智代	本校教頭
	新屋 郁子	本校小学部主事
	島ノ上 麻美	本校中学部主事
	奥田 和代	本校高等部主事
	松橋 美雪	高山日赤分校小・中学部主事

5 会議の概要(協議事項)

(1) 授業見学

(2) 今年度の取組みと学校評価アンケートの結果と分析について

意見1: キャリア教育は乳幼児期から始まっており、いろいろな経験を積むことが大切である。基本的な生活のルールなどに、小さい頃から取り組めるとよい。

意見2: 小さい頃からの丁寧な積み重ねや、家庭、施設、学校との連携を大切にしていきたい。

意見3: キャリア教育については、高山市としても重視している。地域生活でできることを市としても考えたい。

意見4: 進路支援において、福祉事業所の方から説明を聞く機会を設けてはどうか。

意見5: 就労を継続するためには家族の支援が必要である。学校の取組みや生徒の様子、課題等を家庭と共有するには、生徒自身が自分で伝えられる力もつけていく必要がある。

意見6: 学校周知は進んでおり、地域とともに活動していく段階にきていると思う。

意見7: 市役所への作業製品の納入配布はとてもよかった。このような機会を増やせるとよい。

意見8: 高山市のSDGsの活動に登録し、取り組んでみるとよいのではないかと。ボランティア

も頼みやすくなる。

- 意見 9：居住地校交流について 居住地校に行って行う交流だけでなく、居住地校の児童生徒が来校して交流することができるようになるとうい。
- 意見 10：地域の防災活動では、当校の児童生徒のことも要援護者として念頭に置きながら、考えていきたい。
- 意見 11：アンケート結果を分析するときには、少数の意見にもきちんと耳を傾けていくとうい。
- 意見 12：アンケートでは、児童生徒の声を一番大切にしてほしい。「わからない」と回答した背景をよく考え、結果を今後の取組みに活かしていけるとよい。
- 意見 13：学校と保護者との関係や働き方改革等は、正直分らないことも多く、アンケートに回答しづらい部分があった。アンケート自体は大切なことだが、結果に固執しすぎず、内容を吟味しながら実施できるとよい。また、保護者への情報発信を丁寧に行っていけるとよい。
- 意見 14：授業見学をしていると、施設設備が十分でないということが分かる。すぐに改善できることではないが、粘り強く要望していけるとよい。
- 意見 15：高校や小学校等、他校の空き教室等を活用できるのではないか。
- 意見 16：アンケートに施設設備の項目をもっと入れて、保護者からの回答を県に伝えられるとういのではないか。
- 意見 17：車椅子生徒の移乗用リフトの活用は有効だが、場所をとり、準備に時間を要すると思われるので、教職員が身に付けるタイプの装具を検討してみてもどうか。
- 意見 18：人員の確保についても粘り強く要望していけるとよい。教職員でなくてもできる部分は、地域の人材を活かしてほしい。具体的にどう助けてほしいか、何をしてほしいかを伝えてもらえるとよい。
- 意見 19：会社で若い社員との接し方については悩むことがある。教師の専門性を追い求めることで負担が増えてしまわないよう、まずは若い教師との対話を大切にするとうい。
- 意見 20：できることを増やすためにはリスクも伴う。そのバランスを保護者と相談しながら教育活動に取り組んでいけるとよい。経験の積み重ねを大切にしながら、障がいや、強みに変えられるような特別支援教育の在り方を検討してほしい。

(3) 来年度の取組みについて

- ・学校評価アンケートの結果と分析をもとに、今後の課題と方向性について説明した。

(4) 本校高等部作業製品の価格審査

- ・高等部作業学習の製品価格について、適正な価格であるとの承認が得られた。

6 会議のまとめ

- ・会議では、キャリア教育の意義や児童生徒、教師、保護者、関係機関との対話を大切にした実践等について、貴重な意見が得られた。
- ・学校評価アンケートの結果から得られた成果や課題と、学校運営協議会委員から得られた意見を学校内で共有し、今後の実践につなげていく。
- ・第3回の学校運営協議会では、今年度の実践のまとめを報告し、今後取り組んでいくべき重点について検討し、来年度の実践につなげる。